



○ 折々

折々のことば

鷲田 清一 2824

if not me, who, if not now, when.

エマ・ワトソン

国連の親善大使に選ばれた俳優は国連でのスピーチで、ジェンダー平等への当然の要求がなぜ酷い誹謗中傷に遭うのかと訴えた。そしてそれを語るのが自分でいいのか不安になるたび、こう呟いた。「私にはできない？ じゃあ、誰がするの。いまは無理？ じゃあ、いつするの」。これを詩人の白井明大は「普通の間人が闘うための言葉」と評した(『日本の憲法 最初の話』)。

2023・8・18

久しぶりに朝日新聞記載の「折々のことば」に眼がとまりました。私が受け止めたのはジェンダー平等という観点だけではなく、身近なことです。

「私にはできない？ じゃあ誰がするの。今は無理？ じゃあ、いつするの」という問いかけは全ての人に当てはまるなと思ったのです。「自分には難しいことだろう。失敗するのはいやだからやめておこう。」と実践に移すことを躊躇することはよくありますね。多くの場合、「あのときに挑戦しておけば(取り組めば)よかったな。」と後悔することは誰にでもよくあることではないでしょうか。

また、「できるかも知れないけれど今はやめておこう。」と先延ばしにしてしまい、チャンスを逃して

しまうこともよくありますね。記事の中では「普通の間人が闘うための言葉」と表現されていますが、闘うほどのことでなくても私たちは毎日のように経験しているのではないのでしょうか。ごくありふれたことに当てはめてみると、電車やバスの中での席の譲り合いなどもそうでしょう。

私も今やっておかなければならないことを先延ばしにしてしまうことはよくあります。歳を重ねた私は時間の過ぎる速度を速く感じます。若い学生諸君は速度を比較的遅く感じているかも知れませんが、油断せずに今しなければならぬことを見逃さずに生活してほしいですね。かつてはやり言葉になった「今でしょ！」というフレーズを思い出します。

私がもう一つこの記事を読み返しながら眼にとまったのが、「？」の位置です。原文には？マークが遣われていませんが、日本語訳の中には遣われています。その位置を見てみましょう。通常であれば疑問形の「誰がするの」「いつするの」につきそうですが、「私にはできない」「いまは無理」についています。私には訳した方の意図が少し感じられました。

「天声人語」の文章を書き写して学ぶというような勉強方法があるようです。それもいいと思いますが、「折々のことば」の短い文の中でも受け止め方によっていろいろなことを学べると私は思っています。毎回ではないですが…。

○ 自校自賛

学校玄関前の花壇です。昨年はこの時期にはマリーゴールドと松葉ボタンを植えていました。マリーゴールドには根の部分に線虫の防除効果があるそうで、独特な匂い(香り?)がしました。

今年植えたバジルは料理に使われるように爽やかな香りを楽しめます。それなりに元気よく育っており、花も咲き始めました。ちぎって持って帰り料理に使ってもいいのですが、皆さん遠慮しているのかな？

